

NO	意見
共通	
1	県の一次評価で「やや遅れている」が少なく、また、二次評価も全て「概ね順調」となっているのは、目標設定が低いためではないか。目標設定の妥当性に疑問を感じる。
2	数値目標やKPIはアウトカムを設定するよう検討して欲しい。
3	評価全体として、県民が本当に肌で感じているかという点が欠けているのではないか。県民がどう感じているかを常に頭に置いて施策を行って欲しい。
4	総合戦略推進評価部会からの厳しい意見についても常任委員会に示して欲しい。
5	数値目標やKPIが適切に設定されるよう、政策局と事業担当局でもっと議論があって良いのではないか。
6	実績が目標値を大幅に超えているKPIについて、見直しをしていく予定はないのか。
7	もっと県民目線を意識して、もう一度評価をする、または計画を立てたほうが良いのではないか。
8	県民アンケートや各種外部の調査機関による都道府県比較等と県の評価結果に温度差があるのではないか。「順調」「概ね順調」といった甘い評価ありきとならないよう、評価手法を改善すべき。
基本目標 1	
9	p13「(4)観光産業 観光産業の振興」のKPI「県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化件数」について、他の旅行会社がやっているものと同じようなものではなく、県でしかできないようなツアーを組むべき。
基本目標 2	
10	p24のKPI「ちょっと田舎・かながわライフ支援センター等での移住相談などの件数」はアウトプットである。移住者数が何件あったかというアウトカムが目標になるのではないか。
基本目標 3	
11	p37「(1)結婚から育児までの切れ目のない支援 結婚の希望をかなえる環境づくり」のKPIが「『恋カナ!サイト』のトップページの閲覧数」というのは(結婚の希望をかなえる環境づくりとは)離れているのではないか。
12	p37「(1)結婚から育児までの切れ目のない支援 結婚の希望をかなえる環境づくり」のKPIが「『恋カナ!サイト』のトップページの閲覧数」ひとつだけでは寂しい気がするが、今後変わっていくのか。
13	p42「(2)男女共同参画の推進 女性の活躍支援と男女共同参画の推進」のKPIについて、女性が自ら管理職になりたいと思えるような社会を実現していくには、引き続き、企業や男性、若者など、より広い視点から実効性のある施策を継続的に展開していただきたい。
基本目標 4	
14	KPI「消防団の団員数」の目標値を変えるとは言わないが、現状維持ではなくもっと高い目標を目指して欲しい。
15	p47のKPI(「『未病センター』認証数、『未病を治すかながわ宣言協力活動』への登録事業者数、等)は、アウトカムではなくアウトプットになっているのではないか。
16	p50「(2)持続可能な魅力あるまちづくり 人口減少社会に対応したまちづくりの推進」のKPI「空家等対策計画を策定した市町村数」は2015年度目標値が1市町村、2018年度以降の目標値は今後設定となっているが、これは、取組もうとしている市町村の数を挙げた「結果ありき」の目標ではないのか。

